

# 会議録

会議名	令和7年度(2025年度)八王子市医療連携推進懇談会	
日時	令和8年3月23日(月) 19時30分～20時45分	
場所	八王子市保健所 502 会議室	
出席者	出席者	健康医療部長(座長)、健康づくり担当部長(副座長)、八王子市医師会 鳥羽会長(医師会)、八南歯科医師会 服部専務理事(歯科医師会)、八王子薬剤師会 新井会長、東京医科大学八王子医療センター 田中病院長(医療センター)、東海大学医学部附属八王子病院 野川病院長(東海大)、南多摩病院 益子院長(南多摩病院) ※()内は会議録における呼称
	事務局	健康医療政策課長、健康づくり推進課長、健康医療政策課職員3名
欠席者	多摩南部地域病院 桂川院長	
次第	1 開会 2 議題 (1)医療連携による早期医療対応ネットワーク事業等について (2)夜間救急診療事業の現状と課題について (3)救急医療における八王子市における下り搬送支援の取組について (4)令和8年度診療報酬改定について (5)国・都・市の医療機関等向け物価高騰対策支援について 3 報告 (1)医療安全支援センターの実績等について (2)八王子障害者歯科診療所実績について (3)市の発災時の取組について 3 閉会	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	資料1：医療連携による早期医療対応(精密検査・専門外来・入院)ネットワーク事業結果表 資料2：地域医療支援病院実績報告(医療センター、東海大、多摩南部地域病院) 資料3：救急診療患者数の推移 資料4：医療連携ネットワーク事業(小児休日夜間・電話相談)(年度集計) 資料5：夜間救急診療事業の現状と課題について 資料6：救急医療における下り搬送支援の取組 資料7：令和8年度診療報酬改定(抜粋) 資料8：国・都・市の医療機関等向け物価高騰対策支援 資料9：医療安全支援センターの事業実施状況 資料10：医療安全相談窓口相談実績報告 資料11：八王子市障害者歯科診療所実績について 資料12：市の発災時の取組	

<p>会議の内容</p>	<p>1 開会挨拶(健康医療部長)</p> <p>本日は遅い時間にもかかわらず、お集まりいただきありがとうございます。時間の制約がある中ですが、皆様からの闊達なご意見をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 医療連携による早期医療対応ネットワーク事業等について</p> <p>【座長】事務局より資料の説明をお願いします。</p> <p>【事務局】資料1をご覧ください。年度ごとの両中核病院の新規の外来患者の紹介率・逆紹介率の実績です。なお、今年度については、上半期実績となっております。まず紹介率について、令和6年度は86%、令和7年度は87.6%となっております。今年度は過去最高の数値です。これは、中核病院との病診連携や、機能分化の周知が浸透していること、医師会の皆様のご協力があった結果と考えております。市では八王子未来デザイン2040において、2030年までに達成すべき目標を83%に設定しており、すでに達成しております。引き続きこの数値が維持できるように市民周知を図っていきたいと考えております。</p> <p>続いて、資料2-1～2-3をご覧ください。医療センター、東海大、多摩南部地域病院の地域医療支援病院についての実績です。医療センター、東海大の両病院とも、患者数はコロナ前並みに戻りつつも、地域医療支援病院の水準は十分満たしている状況です。</p> <p>続いて、資料3をご覧ください。救急診療患者数の推移です。受入患者数の約半数を両中核病院で、残り約半数を8病院で受け入れていただいております。令和2年度と比較すると患者数は約7%増となっております。説明は以上です。</p> <p>【座長】皆様からご意見等あればお願いします。なければ次に進みます。</p> <p>(2) 夜間救急診療事業の現状と課題について</p> <p>【座長】事務局より資料説明をお願いします。</p> <p>【事務局】資料4をご覧ください。医療センター、東海大、南多摩病院の小児休日全夜間事業と夜間救急診療事業、電話相談事業の実績です。平成27年度と令和6年度を比較すると、この10年で患者数は半減しております。電話相談事業は、医療センターは半減、東海大と南多摩は大幅な減少は見られません。夜間救急診療事業は、令和5年度の委託化を機に患者数が大きく減少しております。少子化やコロナ禍を経た市民の行動変容によるものと分析しております。</p> <p>続いて、資料5夜間救急診療事業の現状と課題についての資料をご覧ください。令和5年度の委託化を機に、患者数が大きく減少しております。市としては、更なる市民周知を図ることや、委託先の南多摩病院と連携を強化し、現状や課題について共有及び改善に努めていきたいと考えております。</p> <p>【座長】南多摩病院から補足等ございますか。</p> <p>【南多摩病院】#7119や#8000の活用により患者数が減っているのであれば、良い傾向と考えられますが、院内の取組不足ということがヒアリングの中で発覚しております。より良い受入態勢を整えられるよう努めてまいります。</p> <p>【座長】ありがとうございます。市にも市民の声としてご意見が寄せられるので</p>
--------------	---

すが、夜間救急を受診する方は、みなさん急を要し切羽詰まって受診される方も多いと思いますので、まずは寄り添う姿勢で対応していただくようお願いいたします。他にご意見ないようでしたら、次に進みます。

### (3) 救急医療における下り搬送支援の取組について

【座長】事務局から説明をお願いします。

【事務局】救急医療における下り搬送支援について、市の取組をご説明いたします。高齢化やインフルエンザ等の感染症の流行による救急搬送のひっ迫が全国的な課題になっており、八王子市ではコロナを通じて構築された、医療・行政・消防の顔の見える関係を生かせないかと考えておりました。そこで、八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会(以下、八高連)と八王子市医師会にご協力いただき、在宅医療患者情報を多職種で共有できるシステムである「まごころネット」を活用して、後方病院の空床情報を共有する仕組みを試験試行しております。市内28病院が参加して12/1～3/31の間、検証をしております。また、適切な救急医療の提供のために、市民周知のためのチラシを作成しました。市のホームページに掲載しているほか、医師会を通じて市内病院に掲示していただいております。

【座長】みなさまからご意見や救急の受入れの現状等についてご発言があればお願いします。

【医療センター】現在「まごころネット」は在宅医療患者が対象となっていますが、今後は対象者を拡大して、病病連携にも活用するシステムにしていくという方針なのでしょうか。

【健康医療政策課長】今回は、「まごころネット」には元々、ショートステイの受入先を共有できる機能があり、その機能を下り搬送でも活用できないかというのをきっかけとした取組です。試行中ですが、今後もより良い形で活用していきたいと考えております。

【医療センター】東京都の仕組で、3次救急やCCUについては空床情報を共有する仕組みがあります。疾患ごとに各診療科がシステムを管理する体制が構築できないと、形骸化したものになる懸念点があると感じました。

【東海大】救急のひっ迫が問題になっている中で、循環器や脳卒中等のトリアージシステムが確立されているものだけでなく、ACPやリビングウィルが確立された方の搬送の仕組みを見直していくという点においても、八王子市は、八高連とまごころネットという独自の切り札があるので、今後も有効活用していければ我々急性期病院としてもありがたいと思っております。

【南多摩病院】今回の試験試行で当院から下り搬送できた例が何件もあります。今後も継続的に運用していただきたく思っております。これからは、病病連携だけでなく、病介連携が特に重要になっていくので、まごころネットの機能をさらに充実させて地域のプラットフォームとできれば、全国的にも誇れるシステムとなると思います。

【医師会】そもそも昨年度の年末年始にインフルエンザが大流行したのがきっかけで、中核病院を中心に病床が急激にひっ迫する状況でも、下り搬送をスム

ーズに行い救急医療体制を維持させるために始めたのですが、今年は試行期間に感染が大流行することがなく空振りに終わりました。ひっ迫している状況下のデータが取れていないものの、平時でも活用できる状態を目指して、引き続き検証を続けていければと思っています。

【座長】今回の取組は、八高連の田中会長を中心にみなさまのご協力のもとオール八王子で行うことができました。今回はひっ迫した状況で活用することはなかったと伺っていますが、引き続き検証を続けていければと考えております。よろしく願いいたします。

【薬剤師会】我々は救急搬送に直接関わるわけ立場ではないですが、おくすり手帳に#7119の案内を載せて救急車の適正利用についての普及啓発に取り組んでおります。

【座長】ありがとうございます。次の議題に進みます。

(4) 令和8年度診療報酬改定について

(5) 国・都・市の医療機関等向け物価高騰対策支援

【座長】事務局から説明をお願いします。

【事務局】資料7をご覧ください。厚労省のホームページからの抜粋になります。令和8年度診療報酬改定は、物価や賃金の上昇への対応、2040年に向けた地域医療資源の確保・地域包括ケアシステムの推進が目的にされております。改定率については、30年ぶりのプラスで、+3.09%となっております。資料には、医科、歯科、調剤それぞれの診療報酬改定の主なポイントについて掲載しておりますので後ほどご覧ください。

続いて、資料8は国・都・市の物価高騰対策支援について表にまとめたものです。市の産業振興推進課の支援事業については、申請時期は6～8月ごろを予定しております。詳細が入りましたら、またお知らせします。次に、救急医療機関向け物価高騰対策支援についてですが、両中核病院は2,000万円、その他救急病院については1,000万円の支給になっております。詳細につきまして、対象の医療機関へ追ってお知らせいたします。以上です。

【座長】こちらの議題について、診療報酬改定の影響など、各病院の現状等についてご発言いただければと思います。

【医療センター】今回の改定は決して増収増益につながっておりません。人件費に関しては、今回の改定の対象外の職種も含め、全職員の賃上げを検討する必要があると考えており、改定による+3%はほとんど人件費に充てることになると見込んでおります。

【東海大】当院も医療センターと同じような状況です。円安物価高騰による材料費の高騰だけでなく、後発医薬品への移行についてもなかなか進まず、高度急性期医療をやればやるほど赤字につながるという状況です。

【南多摩病院】中小病院も経営は厳しい状況です。重症度、医療・看護必要度の見直しにより、救急搬送実績が反映されるようになったことで、社会的入院に近い高齢者を受け入れるほど負担になっていた部分が解消されるのではと見込んでおります。

【医師会】診療所も同じく厳しい状況です。賃上げについては、昨年のベースアップ加算では賄いきれなかったため、自分の収入分から補填しました。病院、診療所に共通して言えることですが、医療福祉分野は、経営に余裕があるからこそ新しい機器を導入してより良い医療を提供することにつながるのであって、現在の黒字にするのが精いっぱいという状況のままであれば、日本の医療のレベル低下にもつながってしまうのではと懸念しています。

【薬剤師会】薬価では、+0.08%となっていますが、後発医薬品加算が廃止になる影響が大きいです。国は面分業や OTC 医薬品や在宅を推進しております。門前だけでなく、広域の処方箋を受けるためには、調剤室の面積を一定以上にする必要があり、それに応えられるチェーン薬局が優遇されている形になっています。特に個人経営の調剤薬局は現状での賃上げは非常に難しいです。

【歯科医師会】歯科診療所はまずスタッフが集まらないという課題があります。歯科は歯科医師だけでなく、歯科衛生士や歯科技工士等の専門職が必要不可欠ですが、人材を給料の高い歯科医院に採られてしまうため、歯科医師がワンオペでやっている歯科医院も少なくありません。いくらベースアップがあっても良い医療が提供できる体制が構築しづらいのが現状です。

【座長】皆様ありがとうございます。市としてもできることをしっかり考えていきたいと思えます。

### 3 報告

#### (1) 医療安全支援センターの実績等について

【座長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】資料9をご覧ください。医療安全支援センターの実績について報告します。医療安全支援センターは、以前は会計年度任用職員(看護師)により直営で運営しておりましたが、令和6年度より外部委託をしております。令和7年度上半期の受付件数は389件で、相談が大半を占めております。受付件数は、昨年度と同程度の件数になると見込んでおります。相談者の大多数は本人からで、相談内容は医療知識を問うものが最も多く、次いでコミュニケーションに関すること、医療機関等の紹介・案内の順になっております。対象の診療科は、内科が最も多く、歯科と精神科、整形外科の順になっております。資料10は医科と歯科についての相談事例を数件ずつピックアップしたものです。後ほどご覧ください。説明は以上です。

【座長】本件に関してご発言等ございますか。

【東海大】個人的にとっても参考になりました。対象の診療科ですが、高齢者の患者が多い歯科や整形外科、眼科等が多く見受けられます。患者の知識不足による問い合わせかと思えますので、どの診療科にかかれば良いのかわからない一般の方向けに、これらの情報を周知していく必要があると感じました。

#### (2) 八王子障害者歯科診療所実績について

【事務局】資料11をご覧ください。月別患者数については、令和6年度と7年度を比較すると増加傾向にあります。障害者歯科診療所の課題についてですが、現在初診が2か月待ちになっている、開設日が水木のみで学齢期の患者の利

用困難等があります。今後の取組ですが、来年度に障害者歯科診療所のニーズについてアンケート調査を実施します。また、障害者歯科診療事業の支援について都への予算要望をしております。都への働きかけを含めて、八南歯科医師会と連携を強化し、進めていきたいと考えております。説明は以上です。

【座長】歯科医師会の服部先生、いかがでしょうか。

【歯科医師会】現在、健康医療政策課と休日歯科応急診療事業を縮小して、障害者歯科診療事業を充実させる検討を行っております。年齢別の初診患者をみると、学齢期が少なく、受診できる機会が増えるようにできればと考えております。八南歯科医師会の圏域内には、多摩市にも障害者歯科診療所があり、アンケート調査を実施しましたが、ニーズは非常に高いことがわかっています。障害者歯科は、一般の歯科診療所では対応困難な患者さんを相手にするため、指導医のもと診療する体制なので、患者数を増やすことは容易ではありませんが、ニーズのある層の受診の機会を増やせるよう体制構築できればと考えております。都心だと飯田橋に都立心身障害者口腔保健センターがありますが、多摩地区の患者は少なく、多摩地区の患者を受け入れるという意味でも、本診療所を拡充するニーズがあると考えております。

【東海大】初診患者の状況はわかりましたが、全体の患者の年齢分布はどうなっていますか。

【歯科医師会】若年層もいるのですが、学齢期ではなく未就学児がほとんどです。本診療所では、一般の診療所では対応できない、気道確保をしている患者さんやユニットに移乗できない患者さん等基本的には静脈鎮静麻酔で治療する患者さんを対象としております。

### (3) 市の発災時の取組について

【座長】最後の議題です。事務局からの説明をお願いします。

【事務局】資料12をご覧ください。発災時、市の災対健康医療部では、医療救護活動拠点を立ち上げ、保健所長を統括として、災害医療コーディネーター等の助言のもと、医療救護活動や保健医療活動を行います。また、市は四師会と協力して、災害拠点病院等の近接地で緊急医療救護所を開設し、トリアージを行います。より実効性の高い体制にすべく、市内15か所の緊急医療救護所の開設をレベル分けいたしました。詳細は資料内の地図のとおりです。緊急医療救護所の物品は、医薬品は令和6年度より薬剤師会に委託をし、災害時協力薬局でローリングストックをしております。次に、今年度の主な取組です。本日出席の3病院で緊急医療救護所訓練を実施させていただきました。また、医師会では医師会災害時マニュアルの改訂を行っており、市も検討に携わらせていただきました。歯科医師会では市の歯科保健医療活動マニュアルの策定に伴い、災害時協定を見直しました。薬剤師会では、緊急医療救護所訓練を通して災害処方箋等のブラッシュアップに取り組んでいただきました。最後に、東京都の災害時要配慮者医療提供部会に参画し、市の福祉・子ども・防災分野と連携して要配慮者対策を進めて参りました。来年度も引き続き、検討していく予定です。

【座長】みなさまから補足等がありますか。

【医師会】今回は、市の方針に合わせてマニュアルを改訂しました。コロナの時と同様に、災害時においても、中核病院や救急病院を守って、必要な患者に必要な医療を届けるための体制を構築することが大切です。そのため、透析と産科以外の診療所の医師は、診療所を閉鎖して緊急医療救護所に従事します。72時間後の復興に向けた体制は、状況に応じて変化するのでマニュアルには詳細まで記載していませんが、病院・避難所・診療所への支援をしていく計画になっています。

【薬剤師会】薬剤師会はモバイルファーマシーで地域の防災訓練に出向き、普及啓発しております。今年度東京都でもモバイルファーマシーを購入し、立川市の災害医療センターに設置しております。緊急医療救護所訓練に参加すると毎回新たな気づきが得られるので、今後も引き続き参加していきたいと思っております。

【医療センター】今年度は多摩直下地震を想定したDMATの関東ブロック訓練と同時に緊急医療救護所訓練を行いました。実際に訓練してみると、想定していた部屋が狭くて使えない、各セクションのフロアが違くと連携がとりづらくなる等の新たな気づきが得られました。敷地内の市立看護学校の講堂が黒タグの安置所になっているのが、必要性を感じつつも勿体ないと感じています。降雨時や降雪時にも地震が起きることを想定して、講堂の活用方法を検討いただければと思います。

【東海大】今年度の訓練は雨が降ったため、例年行っている場所ではなく、院内のホールで行いました。医師会をはじめ皆様のご協力により無事に実施することができました。市内には、約30名のALS、多系統萎縮症(MSA)の患者さんがいて、災害時の個別計画を作成し、人工呼吸器用の発電機を備えていらっしゃるのですが、せいぜい6時間くらいしか持ちません。当院が受け入れるとしても、自家発電は3日分しか維持できませんので、その先の対応も検討する必要があります。緊急医療救護所の備蓄の中に、発電機等の電源装置を取り入れていただくことを検討いただければと思います。

【座長】皆様ご意見ありがとうございました。

#### 4 閉会挨拶(健康づくり担当部長)

【副座長】本日はたくさんのお貴重なご意見ありがとうございました。今年度は3病院で緊急医療救護所訓練を実施していただきましたが、保健所としては来年度、駅前で保健所の近くにある仁和会病院で訓練を実施できればと考えております。現在、国の地域医療構想も大きな変革の時期を迎えており、高齢者の救急搬送やかかりつけ医機能等様々な課題がありますが、八王子市で各病院や三師会との連携で積み上げてきた「まごころネット」等の独自の仕組みをブラッシュアップするとともに、国の動きにもあわせていかなければと考えております。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。

【座長】ありがとうございました。以上を持ちまして、本日の会議を終了いたします。